

## 外語会主催「文化講演会」のお知らせ

講師：今福龍太氏（東京外国語大学大学院・総合国際学研究院教授）

演題：書物は琥珀のなかで未来を夢見てきた —— 〈本の自叙伝〉の試み

日時：7月7日（土） 14時～16時

会場：東京外国語大学 本郷サテライト 4階



**講師紹介：**今福龍太（いまふく りゅうた）文化人類学者・批評家。東京外国語大学大学院にて「群島論」を教える傍ら、サンパウロ・カトリック大学大学院客員教授としてメディア学・映像論の講座を随時担当。2002年より巡礼型の野外学舎「奄美自由大学」を主宰。著書に『クレオール主義』『ミニマ・グラシア』『群島・世界論』『ブラジルのホモ・ルーデンス』『レヴィ=ストロース 夜と音楽』『薄墨色の文法』など多数。

**講演概要：**「電子書籍」の登場によって出版界・読書界はおおきな変動に見舞われているようにみえます。ですが、書物を情報コンテンツとして電子的に囲い込む前に、書物という物理的形態、その内実、その歴史、その謎と未開拓の可能性について、私たちは深く考えておく必要があるのではないのでしょうか。あらたな書物復権の思想に向けて、人類の歴史における書物と身体との深く豊かなかかわりの消息を繙いてみたいと思います。何億年も前の琥珀のなかには、地球の古い来歴がそのまま封印されています。書物もまた、自らの琥珀のなかにじっと身を置きながら、未来の誰かがそのメッセージの封印を解くのを待ちわびているのです。拙著『身体としての書物』（東京外国語大学出版会）に依りながら、〈本〉みずからに自叙伝を語らせようという試みです。

---

申込み・問合せ先：東京外語会事務局 Tel:03-3815-5877 Fax:03-5842-8377 E-mail: jimukyoku@gaigokai.or.jp

懇親会：講演の後、講師を囲んでサテライト 8Fにてシンプルな懇親会が開かれます。

会費：1000円（会費は講演の聴講費、資料作成費、懇親会費に充当）

サテライト・アクセス：東京メトロ地下鉄「本郷三丁目」から徒歩5分。「壱岐坂上」の角。